

三郷市地域公共交通網形成計画（案）の意見募集結果とその回答

- (1) 政策等の題名 三郷市地域公共交通網形成計画（案）
- (2) 政策等の案の公表の日 平成30年1月4日（木）
 意見の募集期間 平成30年1月4日（木）～2月2日（金）
- (3) 意見の提出状況
 提出人数 2人（メール：1人、郵送：0人、持参：1人、FAX：0人）
 提出意見 10件
- (4) 寄せられたご意見

項目	パブリック・コメント手続による意見数
1.三郷市内の公共交通に関する現況把握	2件
2.地域住民等の移動実態・ニーズの把握	0件
3.地域公共交通を取り巻く課題整理	0件
4.地域公共交通の構築に係る基本方針及び目標	1件
5.目標を達成するために行う具体的な事業	1件
6.計画の達成状況の評価	0件
7.その他	6件
	0件
	0件
合計	10件

三郷市地域公共交通網形成計画

整理番号	項目番号	意見等の概要	市の考え方
1	1	上口1丁目、番匠免1丁目において、公共交通空白地域として取り上げているが、具体的な対策が取られていない。提案として、人の動きを活性化させ、公共交通の空白地域を解消させるために、この地区を準住居地域か準工業地域に変更してほしい。	公共交通空白地域を解消するための提案である用途地域の変更やインターの西側のまちづくりにつきましては、今後のまちづくりの事業進捗にあわせて、地域公共交通網の維持による利用しやすい公共交通サービスの実現を目指してまいります。
2	1	まちづくりと連動した地域公共交通網の構築をするために、将来都市構造の拠点と産業立地ゾーンにおいて、それぞれにインター西部地区を追加してほしい。	
3	4	ネットワーク再編成の基本的な考え方の中に「三郷中央駅20分構想」があるが、素晴らしい構想だと思うので、市、市民、関係機関が一丸となって取り組んでいただきたい。	三郷市のバス路線は、つくばエクスプレスやピアラシティの開業に合わせて、「三郷中央駅アクセス20分構想」を基本理念に掲げ、再編成が行われてきたところでございます。今後もこの基本理念に則り、地域公共交通網の維持による利用しやすい公共交通サービスの実現を目指してまいります。
4	5	高齢者の免許返納について、具体的な施策は考えているのか。	計画においては【事業14 運転免許自主返納制度の導入検討】における取組内容として記載しておりますが、具体的な施策につきましては、今後、関係機関と協議してまいります。
5	7	公共交通の基盤整備と運転免許の自主返納は両輪の施策と考える。高齢者の事故防止を図るために、公共交通の基盤整備をお願いしたい。	公共交通は自家用車を持たない方など、高齢者を含め交通弱者にとって必要不可欠なものでございます。すべての市民が通勤・通学等において市内を自由に移動できるよう地域公共交通網の維持による利用しやすい公共交通サービスの実現を目指してまいります。
6	7	二郷半用水沿いの市道0115号線の国道298号線から首都高速道路下までの区間において、右折車が多いためか渋滞が発生しており、公共交通に支障をきたしている。渋	ご指摘の二郷半用水沿いの市道0115号線につきましては、八潮方面へ向かう共和橋が渋滞するため、時間帯によって渋滞が発生している箇所と認識しております。ご提案の二郷半用水沿いの道路を埋め立て、右折車線を整備することにつきましては、渋滞対策の一環として有効かと思われませんが、共和橋の渋滞解消も必要なことから、関係部署と連携し、広域的な

整理番号	項目番号	意見等の概要	市の考え方
		滞対策として二郷半用水沿いの道路を埋め立て、右折車線を整備することを提案する。	視点から渋滞対策に取り組み、公共交通の利用環境改善に努めてまいります。
7	7	福祉輸送については今後、どう考えているのか。	福祉輸送として当市では福祉有償運送を行っておりますが、公共交通と福祉は関連性が強いことから、今後も福祉部局と連携し、地域公共交通網の維持による利用しやすい公共交通サービスの実現を目指してまいります。
8	7	現状では、多種のマップ、時刻表がありスムーズな行動に結びつかない。一つの冊子にまとまるとよいと考えます。	当市では毎年度、バスの利便性向上や利用促進を図るため、バスガイドマップを発行しております。時刻表については、掲載場所の問題やダイヤ変更が随時行われることから、バスマップに掲載することは難しいと考えておりますが、引き続き、バスマップの掲載内容について、他市で発行しているバスマップを参考にしながら、使いやすいバスマップについて検討してまいります。
9	7	三郷市には、自然環境、イベントなど魅力的なものが多いため、観光客ルートが公共交通手段と連結され、文化交流など地域資源を活用しやすくなればよいと考えます。	まちづくりや観光振興、さらには健康、福祉、教育、環境など様々な分野と連携し、地域公共交通網の維持による利用しやすい公共交通サービスの実現を目指してまいります。
10	7	補助金や交付金を公共交通のために使うということは考えていますか。	補助金や交付金につきましては、国や県などが出している様々な補助制度がございますので、最適な補助金について研究し、それらを活用しながら地域公共交通網の維持による利用しやすい公共交通サービスの実現を目指してまいります。